

【ゆうちょ銀行の改悪】硬貨入金が有料に！ATM利用手数料も時間帯によって発生

商品・サービスの 料金に関するお知らせ

2022年1月17日(月)にゆうちょ銀行の
一部商品・サービスの料金を
新設・改定いたします。

▶ 詳しくはこちら

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>

ゆうちょ銀行が一部商品・サービス料金の新設・改定を実施しました。

その内容はこれまで無料で利用できていたサービスの多くが有料になるというもので、日常的にゆうちょ銀行を利用している人には大きな影響を与える変更です。

本記事ではゆうちょ銀行の料金改定について解説し、改定の影響を少しでも抑えるための対策方法についてご紹介します。

<h2>日常的に利用するサービスが有料に！ゆうちょ銀行の改悪点</h2>

今回ゆうちょ銀行が発表した変更点は、日常生活に直結するものが非常に多く含まれています。

ここでは、どのような変更があったのか一つずつチェックしていきましょう。

<h3>駅・ショッピングセンター・ファミリーマート等のゆうちょ銀行ATM手数料が一部有料に</h3>

ゆうちょ銀行の大きな魅力の一つであったのが、ATM手数料の無料サービスです。

今までゆうちょ銀行ATMは、全国いつでもどこでも無料で利用することができました。

しかし、今回の改定によってATM手数料がかかるように変更。

今まで通り無料で利用できる時間はあるものの、その他の時間では110円(税込)の手数料が発生するようになってしまいました。

主なATM設置場所	改定前	改定後
郵便局・ゆうちょ銀行	無料	無料 (変更なし)
駅・ショッピングセンター ファミリーマート等	無料	変更あり

<対象ATMのご利用時間・料金>

ご利用時間	改定前	改定後
[平日] 8:45~18:00	無料	無料
[土曜日] 9:00~14:00		
上記以外(休日を含みます)		110円

(税込)

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1624859459773.pdf>

手数料が設定されたのは郵便局以外に設置されているゆうちょ銀行ATMで、利用する時間に応じて110円の利用手数料がかかるようになりました。

なお、郵便局内にあるゆうちょ銀行ATMはこれまで通り、いつでも無料で利用することができます。

<h3>ローソン銀行ATM・イーネットATMの利用手数料が値上げ</h3>

<ローソン銀行ATM>

(税込)

ご利用時間	改定前	改定後
[平日] 8:45~18:00	110円	220円
[土曜日] 9:00~14:00		
上記以外(休日を含みます)	220円	330円

<イーネットATM>

(税込)

ご利用時間	改定前	改定後
[平日] 8:45~18:00	無料	220円
[土曜日] 9:00~14:00		
上記以外(休日を含みます)	220円	330円

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1625098729138.pdf>

ゆうちょ銀行の提携サービスの一部で、手数料が変更となります。

ローソン銀行の利用手数料は、利用時間ごとにそれぞれ110円加算されました。

また、平日と土曜日には無料で利用できていたイーネット銀行の無料利用がなくなり、220円の利用手数料が発生するよう変更されました。

<h3>ゆうちょ銀行ATMでの硬貨の入出金が有料に</h3>

<硬貨を伴うお預け入れ>

(税込)

硬貨枚数	料金
1~25枚	110円
26~50枚	220円
51~100枚	330円

<硬貨を伴う払戻し>

(税込)

硬貨枚数	料金
1枚以上	110円

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1625098713127.pdf>

郵便局内のゆうちょ銀行ATMは今までと同様に手数料無料で利用できると前述しましたが、硬貨の入出金については手数料がかかります。

特に入金の場合には硬貨の枚数によって支払う手数料が変わるため、この変更をしっかり把握したうえで硬貨の入金を行いましょう。

<h3>窓口での硬貨の入出金も51枚以上は有料に変更<h3>

(税込)

硬貨枚数	料金
1～50枚	無料
51～100枚	550円
101～500枚	825円
501～1,000枚	1,100円 (以降500枚毎に550円加算)

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1624859344097.pdf>

ゆうちょ銀行ATMだけでなく、窓口で硬貨を入金する際にも手数料がかかるようになりました。

1～50枚は無料で入金できますが、51枚以上は硬貨の枚数に応じた手数料が発生するので注意が必要です。

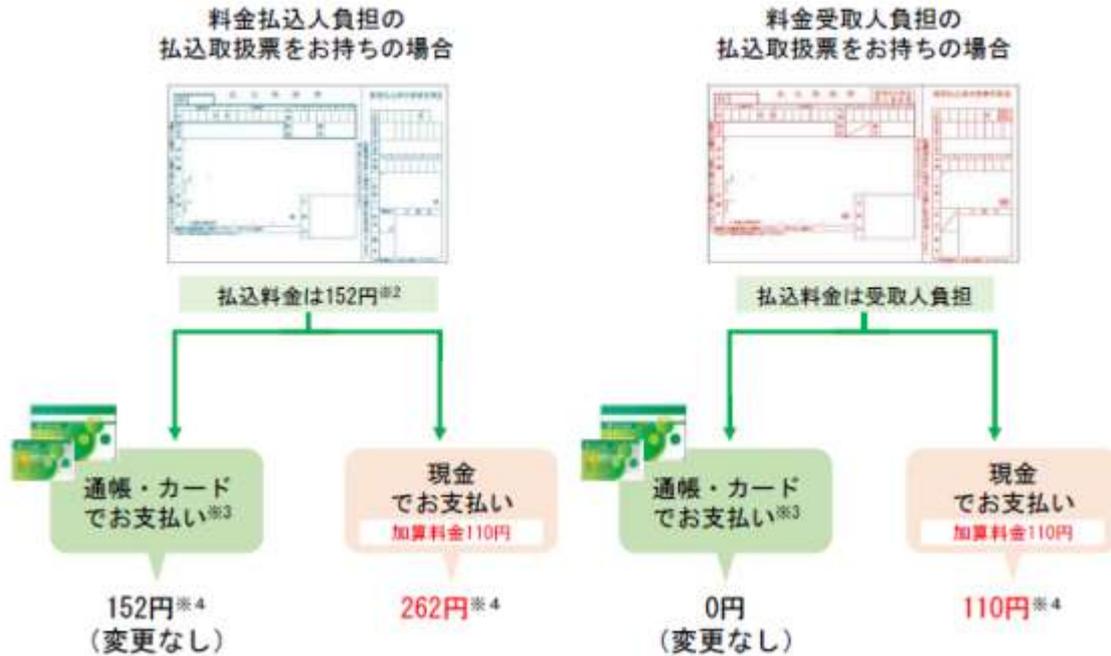
<h3>その他サービスでも、手数料の新設や改定が行われる<h3>

<h4>払込みサービスを現金で利用する場合、料金の110円が加算される</h4>

取扱内容					口座から (通帳・カードをご利用)	現金 (加算料金を含みます)
通常払込み	料金払込人負担	一般・D T 帳票	窓口	5万円未満	203円	313円
				5万円以上	417円	527円
			ATM	5万円未満	152円	262円
				5万円以上	366円	476円
		振替MT サービス	窓口	5万円未満	122円	232円
				5万円以上	336円	446円
			ATM	5万円未満	71円	181円
				5万円以上	285円	395円
		公庫等	窓口		30円	140円
			ATM		30円	140円
		公共料金	窓口	5万円未満	30円	140円
				5万円以上	254円	364円
	ATM		5万円未満	30円	140円	
			5万円以上	254円	364円	
料金受取人負担	一律		0円	110円		
電償払込み	一般	窓口	5万円未満		660円	
			5万円以上		880円	
ゆうちょPay-easy (ペイジー)サービス	料金払込人負担	一般	窓口	5万円未満	112円	222円
				5万円以上	336円	446円
			ATM	5万円未満	61円	171円
				5万円以上	285円	395円
	公共料金	窓口	5万円未満	30円	140円	
			5万円以上	254円	364円	
		ATM	5万円未満	30円	140円	
			5万円以上	254円	364円	
料金受取人負担	一律		0円	110円		

(税込)

例：ゆうちょATMで10,000円の通常払込みをする場合に、払込人さまにご負担いただく料金^{※1}



引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1624859767953.pdf>

窓口やATMの払込みサービスで現金を利用する場合、口座引き落としよりも110円高い手数料が発生するようになりました。

料金受取人負担の通常払込みでも、現金払いをする際は払込人が110円を負担することになります。

また、証券や小切手・証書を利用した払込みも、現金払いと同様に110円が加算されてしまいます。

ゆうちょ銀行の通帳やカードを利用すれば今まで通り無料で払い込むことができるため、現金払いは可能な限り避けた方がよいでしょう。

<h4>各種サービスでの料金新設・料金改定<h4>

(税込)

取扱内容	料金
普通為替の再交付 (1枚につき)	550円
定額小為替の再交付 (1枚につき)	200円
振替払出証書の再交付 (1枚につき)	660円
振替MTサービスに係るDVDの郵送・直接交付扱い ^{※1}	月5万件以下 27,500円 月5万件超 55,000円
投資信託残高証明書の発行 (証明書1通につき)	1,100円
無通帳型総合口座の有通帳口座への切替 (1件につき)	1,100円

(税込)

取扱内容	改定前	改定後
貯金残高証明書の発行 (証明書1通につき)	520円	1,100円
貯金の入出金照会 (1冊の通帳に係る回答につき)	520円	1,100円
普通為替の発行 (1枚につき)	5万円未満 437円 5万円以上 662円	5万円未満 550円 5万円以上 770円
定額小為替の発行 (1枚につき)	100円	200円
通常現金払 (予約発行) ^{※2} (振替払出証書1枚につき)	418円	660円
簡易払 (配当金領収証) ^{※3}	支払総額の1,000分の11相当額 +配当金領収証1枚につき11円	支払総額の1,000分の22相当額 +配当金領収証1枚につき22円
小切手帳の交付 (1冊につき)	1,650円	3,300円
振替口座に係る受払通知票等の再交付 (一の通知番号に係る再交付につき)	523円	1,100円
振替口座の残高証明書 (証明書1通につき)	個別発行	1,100円
	定期発行	550円
振替口座の受払照会	523円	1,100円
払込専用カードの発行 (1枚につき)	167円	330円
払込書印字サービス (請求1件につき)	払込書の枚数×1円+103円	払込書の枚数×3円+220円
国債等振替口座記載事項証明書の発行 (証明書1通につき)	366円	1,100円

引用：<https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/uemgm1000002qopu-att/a1625098696737.pdf>

改定前と改定後の料金を比較すると多くのサービスで利用料が新たに設定されたり、値上げされたりしています。

改定後の利用料が2倍以上になっているサービスもあるため、サービスを利用するには改定後の料金をしっかりと確認する必要があります。

<h2>ゆうちょ銀行はもう使えない？改悪への対処法<h2>

全国233店舗を展開しており、多くの駅やコンビニ等でも利用できるゆうちょ銀行。

店舗数は数ある銀行の中でも群を抜いており、非常に便利な銀行であることは間違いありません。

今回の改悪は利用者にとって手痛い変更となってしまいましたが、使い方を工夫することで、改悪の影響を最小限に抑えてゆうちょ銀行を利用することができます。

<h3>コンビニATMを使うならファミリーマート<h3>

コンビニATMでゆうちょ銀行を利用したい場合、ファミリーマートのゆうちょ銀行ATMを利用しましょう。

ファミリーマートなら、平日8:45～18:00と土曜日9:00～14:00の間は無料で取引することができます。

一方、同じ時間帯でもセブン銀行では110円、ローソン銀行やイーネットATMは220円の手数料がかかってしまいます。

少しでも手数料を節約したいなら、ファミリーマートでの取引がおすすめです。

<h3>持っている硬貨は窓口にて50枚以下で入金しよう<h3>

ATMを利用すると、たった1枚の硬貨の入金でも手数料がかかってしまいます。

ゆうちょ銀行で硬貨による入金を行いたい場合は、50枚以下の枚数を窓口から入金しましょう。

窓口で入金する場合でも一度に51枚以上入金すると手数料がかかってしまうので、それ以上の枚数を入金したい場合は数日に分けて持っていき、手数料をかけずに入金することをおすすめします。

<h3>キャッシュレスで硬貨を使わない生活に移行しよう</h3>

キャッシュレスで硬貨を使わない生活に移行すれば、硬貨の入出金にかかる手数料を節約できます。

例えば、PayPayではゆうちょ銀行をチャージ用の銀行として登録でき、スマホ操作だけでゆうちょ銀行からのチャージが可能になるため大変便利です。

コード決済アプリと連携することに抵抗感のある方には、ゆうちょPayの利用もおすすめです。



引用：https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/yuchopay/kj_sk_yp_index.html

ゆうちょPayは、ゆうちょ銀行が提供しているコード決済アプリで、自身のゆうちょ銀行口座をゆうちょPayに登録して利用することができます。

利用代金はゆうちょ口座から即時引き落としされるため、事前にチャージする必要はありません。

また、ゆうちょPayアプリではゆうちょ口座の残高を確認でき、支払い時の残高不足を防ぐこともできます。

利用できる店舗や施設の数が増加中で様々なキャンペーンも行われているので、これを機にゆうちょPayの利用を検討してみてはいかがでしょうか。

<h2>ゆうちょ銀行の改悪点を確認し、適切な対応を</h2>

今回解説した変更により、ゆうちょ銀行の数多くのサービスが有料もしくは値上げになりました。

たった110円の手数料でも、月に1回利用すると年間で1320円にも及ぶため、生活に大きく影響する改定といえるでしょう。

今回解説した変更点にしっかり対応し、余計な出費を抑えてゆうちょ銀行を上手に利用していきましょう。